

[054] 文獻探究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1811263>

出版情報 : 文獻探究. 54, 2016-03-31. 文獻探究の会
バージョン :
権利関係 :

『文献探究』五十四号をお届けいたします。今号は五本の論考が揃いました。前田稿は、本学附属図書館蔵『林屋正蔵咄本』（仮題）を『忠臣蔵道化縁起』と同定し、解題・翻刻を施したものです。菱岡稿は、小津久足の紀行文『難波日記』について解説し、翻刻を付したものです。その他、前号より引き続き『さころも』の翻刻を載せる閩・張稿、徳之島金見方言について報告した金稿、元韻を通しての全体的な性格について論じた李稿を掲載しています。

*

今号の口絵は、本学附属図書館雅俗文庫に所蔵される『芭蕉翁絵詞伝』の紹介です。口絵にふさわしい資料がございましたら、解説を添えて是非編集部までお寄せ下さい。

*

今回、初めて雑誌の編集作業に携わりましたが、機械音痴の私にとつては悪戦苦闘の日々でした。特にフォントや図について確認・調整する際は、執筆者ならびに周りの先輩方に何かとお世話になりました。記して感謝申し上げます。

*

今号より、博士後期課程の吉田宰が代表を務めております。行き届かぬ点多々あるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。なお、今号に関する編集・会計事務には、吉田の他、博士後期課程の藤田優子、修士課程の中山成一、李静怡が当たりました。次号（五十五号）の投稿締切は来年二月末日、三月刊行の予定です。多数のご寄稿をお待ち申し上げます。

（吉田記）